

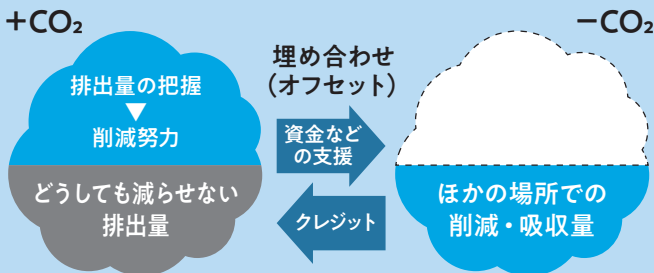
ご利用のガス設備はそのまま!

都市ガスで取り組む カーボン・オフセット



カーボン・オフセットとは？

可能な限りCO₂等の温室効果ガス（GHG）排出量を削減する努力を行い、どうしても排出されるGHGを排出量に見合ったGHGの削減活動に投資すること等により埋め合わせるという考え方です。



排出量の算定方法とは？

地球温暖化対策推進法（温対法）に基づく算定

温対法に基づく温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度（SHK制度）は、GHGを多量に排出する特定排出者に、GHG排出量を算定し国に報告することを義務付けています。

GHGプロトコルによる算定

グローバル企業の気候変動対策に関する情報開示・評価に関する国際イニシアチブ（CDP、SBT、RE100等）では、GHG排出量の算定方法として、GHGプロトコルの各種基準類（コーポレート基準、Scope3基準、Scope2ガイダンス等）の利用を推奨しており、国際的な事実上の標準になりつつあります。

カーボン・クレジットとは？

ボイラー設備の更新や再生可能エネルギーによる発電設備の導入、森林管理等のプロジェクトを対象に、そのプロジェクトが実施されなかった場合の排出量、炭素吸収・除去量の見直し（ベースライン排出量）と実際の排出量等の差分について、測定・報告・検証を経て、国や企業等の間で取引できるように認証したもの（ベースライン&クレジット制度）です。

カーボン・クレジットの主な種類

国連・政府が主導し運営されるクレジット制度と民間セクターが主導し運営されるクレジット制度（ボランタリークレジット）があります。

政府が運営する国内のJ-クレジット制度、ボランタリークレジットとしてVCS、Gold Standard等があります。

カーボン・オフセット都市ガス（供給証明書付き）

商品①

天然ガスの生産から燃焼までの過程で排出するGHGをボランタリークレジットで相殺した都市ガスです。



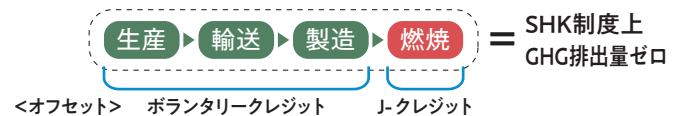
メリット

GHG排出量実質ゼロの都市ガス使用として、企業PRに活用できます。

※SHK制度の調整後GHG排出量をゼロにすることはできません

商品②

天然ガスの生産から燃焼までのGHG排出量を実質ゼロにできることに加えて、SHK制度の調整後排出係数が「ゼロ」になる都市ガスです。



メリット

・SHK制度の調整後GHG排出量をゼロにすることができます。

・GHG排出量実質ゼロの都市ガス使用として、企業PRに活用できます。

商品①、②ともに、販売に係る算定・運用管理への信頼性を高めるため、公正・中立な第三者認証機関による妥当性確認を実施しています。

お問い合わせ

白根ガス株式会社 営業部

☎ 0256-61-7511